

小じき、ゆきお 1930年生まれ。早稲田大政経学部卒業。藤木企業代表取締役会長。横浜港運協会会長。

7月に「カジノ実施法」が成立した。観光立国と地域経済の盛り上げが喧伝されるなか、「横浜の首領」と言われる藤木幸夫・横浜港運協会会長が、「カジノは街を滅ぼす」と立ちはだかった。都市の自律的発展を思考してきた田中康夫氏が、藤木氏に訊きながら、カジノ議論の本質に迫る。



横浜の首領 藤木 幸夫氏 (88)

怒りの激白

「カジノ」は街を滅ぼす!

「異次元の劇薬」ではなく、持続可能な経済 効果を! 田中康夫

「臨海部を活性化する上で有効だ」
「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」
II 「カジノ解禁法」が成立したのは今から1年9カ月前。横浜市、臨海部再開発に弾み、カジノ経済効果6000億円、雇用創出6万人超の見出しで、「産経新聞」は冒頭の横浜市長のコメントを紹介し、「財界からもラブコール」、横浜の観光客は日帰り客中心だがカジノ導入で滞在型観光になる」と報じました。
「統合型リゾート（IR）整備推進法」とも呼ばれる同法に続いて今年7月には「カジノ実施法」II 「特定複合観光施設区域整備法」も国会で成立。因みにIRとはIntegrated Resortの略号。企業が経営状況や財務状況を発信する「投資家向け広報」Investor Relationsとは異なります。
既に昨年3月に設置の

「特定複合観光施設区域整備推進本部」は、「観光立国ニッポン」の意気込みを体現するかの如く、全ての国務大臣が構成員。本部長は内閣総理大臣。猛暑を超える酷暑が不可避の時期に敢行される2020年東京オリンピックに続く「同調圧力」です。
こうした中、横浜港運協会の藤木幸夫会長は昨年来、「カジノは街を滅ぼす」と警鐘を鳴らし続けています。7月18日には協会主催の公開講演会を開催し、「山下ふ頭開発基本計画」で横浜市が謳う「ハーバリーゾートの形成」にカジノは不要と高らかに宣言。
米寿を8月18日に迎えた藤木さんは、「悪い波を止め、自分たちの街は自分たちで護るのが『波止場』の心意気だ」と語ります。父親の幸太郎氏が1923年II 大正12年に興した藤木組が前身の、船内や沿岸、倉

庫の荷役等の港湾運輸事業を手掛ける横浜市中区北仲通の藤木企業にお邪魔して、「コペルニクスの転回」として注目を集める一連の発言の深意を改めてお聞きしました。
◆ ◆ ◆
藤木 今の政治も経済も、リーダーと称する方々がありにもお粗末で、その日本に住んでいる横浜市民の私は、果たして日本という国がこれからも存在し続けるだろうか、と懸念しているんです。
昭和20年に戦争が終わって、憲法と同時に地方自治法が昭和22年に施行された。セルフ・ガバメント。当時17歳の私にとって、それは仰ぎ見るシャンデリアでしたよ。今度は県知事を住民が選べるのか。国から派遣されるんじゃないんだ。市長もそうだよ。いやあ、えらいことになったなという感じです。昭和27年

にはサンフランシスコ平和条約も結ばれた。
でも、それは、占領下の泡、だったんですね。逆に今、地方自治法によって、どれだけ地方が害されているか。どれだけ中央政府が地方自治体を舐めているか。矛盾があちこちに出てきているんです。

田中 東京で生まれた僕が思春期を過ごした信州で県知事に就任した今から18年前、それまでの53年間で公選知事は僅か3人。5期務めた前任者は旧自治省出身でした。現在47都道府県知事の6割は霞が関の官僚出身です。県庁職員出身者も含めれば7割近い。

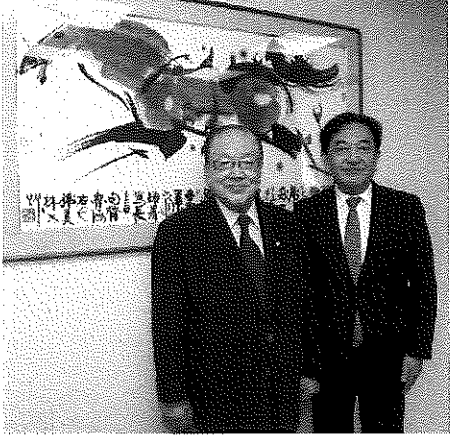
る本牧ふ頭、大黒ふ頭、南本牧ふ頭を中心に国際戦略港湾として充実を図る中で、在来型貨物船向けに高度成長期の前半に整備された山下ふ頭の利活用が議論となっていてね、そこに降って湧いたのがカジノだ。でも、カジノが市民の暮らしに貢献できるかい?

どうしてカジノ一辺倒なのか

藤木 トランプさんに「頼むぞ」と肩叩かれて「はい」と応えたのがカジノです。ファーストネームで呼ばれて、舞い上がっている。周囲も付度どころか、おべっか使いな人たちが中央政府に集まっている。カジノの問題を捉えて話を出す場合に、その前後の姿、それを扱っている日本の政治の自律性のなさ、それは何なんだ、というところから始めなきゃならない。
小泉チルドレンから始ま

って小沢チルドレンとか色々ありました。今やチルドレン以下じゃないですか。そういう人たちがワツシヨイ、ワツシヨイと決めたもの、それがカジノなんです。そんなものを持ってこられたら、我々の現場にゴミを捨てられるようなものだから、住民の一人として反対する。そんなゴミは捨てないでくれと。
田中 成る程、言い得て妙ですね。
藤木 コンテナ船が着岸す

田中 大王製紙創業家三代目の井川意高さんはご自身の体験を踏まえて、「日本のIR法IIカジノ法は童貞と処女がAVの脚本を書いているレベル。（百戦錬磨な海外のカジノ運営業者にとって）赤児の手を捻るようなものだ」と語っています。
藤木 IR法は本来、統合型リゾートを整備する法律でしょ。どうしてカジノ一辺倒になるんですか。
山下公園に隣接する47万平方メートルの山下ふ頭は、海に面した絶好のロケーションです。マッターホルンの山裾のツェルマットでは、住



民が主体的に観光施設の運営を担っている。横浜でも港灣人の我々が、世界で初めて海からアクセス可能な25万平方メートル規模の国際展示場を民設・民営で設けようと。中長期滞在型のチャーターミッドな宿泊施設も用意すれば、ビジネスチャンスを求めて国内外から多くの人が家族連れで訪れるハイパーリゾートとなる。

◆ ◆ ◆

「海外からのお客を増やす策として、東京の更なる魅力を付ける為にもあつてもいいと思う」とカジノ誘致への色気を都知事が語る東京港灣局のHPには、「合法カジノ」設置国は全世界に140カ国と記されています。思えば作家のフヨードル・ドストエフスキは、賭博に嵌まる自身の性状が、不朽の名作『罪と罰』『賭博者』を生み出しました。泥棒と娼婦という人類最古の職業の一群に、

博徒も連なるのです。実際問題、日本には公営ギャンブルが幾つも存在します。中央競馬は農水省、地方競馬は総務省、競艇は国土省、競輪とオートレースは経産省。監督官庁から天下りが送り込まれ、全国で1万店舗を超えるパチンコパーラーも同様に警察庁が所管しています。カジノにだけ目くじらを立てるのこそ、時代錯誤な「矯風会」的発想だよ、と推進派が主張する所以です。

英語で賭博はギャンブリング。博徒はギャンブラー。実は和製英語のギャンブル。その「カジノ」には2種類存在するのです。ヴェネチアやバーデンIIバーデンに象徴される「サロン」としてのカジノ。マカオやバクーに代表される「マネーロンダリング」としてのカジノ。

ヴェネチアの運河沿いで1638年から営まれる、

ジャコモ・カサノヴァも繁く通った世界最古のカジノは、歴史の年輪を感じさせる落ち着いた佇まい。ドイツの黒い森の一廓の、街の名前のバーデンIIバーデン自体が「入浴II沐浴」を意味する温泉保養地のカジノも250年以上の歴史を誇り、「世界で最も美しい」とマレーネ・ディートリッヒが称揚した時空です。返還後もスタンレー・ホ

日本の「タンス預金」を狙っている

以前に僕が訪れたアゼルバイジャンのバクーに雨後の筍の如く誕生したカジノも、シロヴィキと呼ばれるロシアの高官をオリガルヒと呼ばれる富豪が「接待」する場として『007ワールド・イズ・ノット・イナフ』に登場しています。「明るい北朝鮮」とも評される「開発独裁国家」シンガポールで朝鮮労働党の金

一氏の一族が君臨するマカオは一時期、「賄賂社会」として知られる中国の高官を経営者が「接待」する場として活況を呈しました。ディーラーと呼ばれるスタッフと示し合わせて、自分が、或いは雇った「プロ」が敢えて負けて、「合法的」な資金洗浄を完遂です。が、好事魔多し。習近平国家主席が手綱を引き締めるや閑古鳥が鳴いています。

正恩委員長が足を延ばした、ドナルド・トランプ大統領の盟友シエルドン・アデルソン氏が経営するマリナ・ベイ・サンズとて、スロットマシンに興ずる観光客のみで「採算」が取れる訳もないのです。にも拘らず、「シンガポールのIR、半端ないって。敷地面積で5%に満たぬカジノが全体の80%もの売上

中が跋扈して、それを多くの国の政府がウエルカムしている。嘆かわしいね。カジノ客は海外からという計算は、現実と違うだろう。日本の「タンス預金」を狙っているのは明らかだ。唐突に聞こえるかも知れないが、1917年にロシア革命が起きて、今年は2018年でしょ。資本主義」とは資本が元金で、主義」とは元金の方。だから、元金をどうやって増やすか、それしか頭にない連中は、汗をかいて利益を上げたのと、人を騙して利益を上げたのと、その見境が付かなくなる時期が来る。それが資本主義と組む怖さだ、と(ウラジミール・レ

「僕自身が選曲とお喋りを担当する音楽番組」たまたまなく、AOR」を3年前から担当しているご縁で幾度か警隊に接する度、彼こそは「イデオロギーを超越した国土」と呼び得る俊豪だと感銘を受けます。

「雇用と活力を地元を生むのは、他国に伍する規模の見本市会場だ。」「コペルニクス的転回」を訴える「横浜愛」の深意が、真つ当なる市民・国民の心に届く事を願ってやみません。

も満たないんだってね。日本最大の展示場が世界では77位と聞いて、情けなくなつたよ。

田中 47万平方メートルのハノーヴァーを筆頭に、上海、フランクフルト、ミラノ、広州、昆明、ケルン、デュッセルドルフ、パリ、シカゴ。幾つか僕も訪れたことがあります。見本市会場面積ベスト10は何れも25万平方メートル以上です。景気のリバウンドを伴う「一過性」の東京五輪や大阪万博と違って、MICEは経済効果の「恒常性」を創出しますから。

藤木 宿泊・飲食・運送・観光と多岐に亘って、多くの雇用を地元を生み出すからね。

今、世界を見ると、カネを持つている奴の勝ちという金融資本主義。まだ金融だけで止めておけば良いんだけど、金融の後に「マフィア」という単語が付くんだ。金融マフィア同然の連

だから皆、平等でいこうと美しいことを言ったものの、結果は伴っていないから、あまりレニンを褒める訳にはいかないけどね。でも、101年経って、それが私

実は幕張メッセも東京ビッグサイトも、「国策」東京五輪メディアセンター等に用いる準備で来年4月から20カ月、利用不可。その「ビジネスチャンス」を虎視眈々と狙う中国と韓国。見本市という事業は、場所